

# まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

## 花めぐり

### アメジストセージ

爽やかな初秋の風を受けながら街中を散歩していると、あちこちの庭先に赤紫色の花を付けたアメジストセージを見かけます。実は、わが家の庭の片隅にも、とくに手を掛けているわけでもないのに、毎年、みごとに花を咲かせています。

背丈は1メートルほどにも伸び、花期が9月から11月ごろまでと長く、花持ちもよいので結構、楽しむことができます。花は赤紫色のほか濃い紫、白もあるそうですが、いずれも小さな花が一行に、密になって連なって咲きます。

葉はハーブの一種で、指で軽くつまむとミントのような爽やかな香りがただよってきます。また、薬草としても知られ、疲労回復や整腸、解熱などに効果があるといわれています。



(広報委員 石井恒男)

**消防の働く姿を描く**  
小学生の写生作品を展示  
今年で64回目を迎えた恒例の「はたらく消防の写生会(荏原消防署主催)の入賞作品が9月1日(月)から同9日(火)まで荏原第一地域センターで展示されました。今年も小山、後地、小山台の各小学校から13点が入賞しました。



**秋の例大祭、各所じわじわ**  
両社祭は連合渡御30周年で活気  
初秋の町を彩る神社の例大祭が、今年も各所で繰り広げられました。両社祭は、三谷八幡神社と小山八幡神社の2社合同の祭礼として「しながわ百景」の一つに選定されています。今年も9月6、7日の両日、開催されました。とくに7日(日)夜の神輿の連合渡御は祭礼最大の呼び物です。今年も連合渡御を始めて30周年の節目の年にあたり、

## 街角ウォッチング

### グッピーたちの引越し

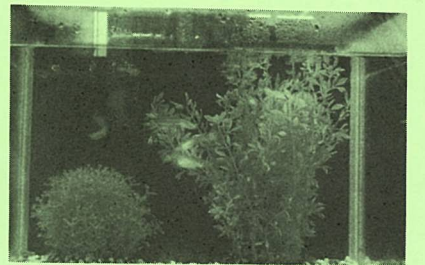
町内に住むある方が8月下旬に北海道へ転居されることになりました。さて問題は、現在、飼育している熱帯魚のグッピーの雌雄それぞれ3匹と、その稚魚三十数匹、それと体長20センチほどのカメ1匹を手放したいが、誰か引き取ってもらえないだろうか、ということでした。

心当たりの2、3の人に声を掛けてみましたが、よい返事は得られません。そこで私に聞いたのが小山台小学校でした。学校側は大歓迎で引き受けてくれ、無事に生き物たちの引越しが完了しました。

生き物たちは水槽に放たれて校舎の玄関入口内と保健室に置かれ、目を楽しませてくれます。今では、生徒たちの手によって飼育され、すくすくと育て、マスコットとしてかわいがられています。

それにしても、たかが小さな生き物の引越しとはいえ、持ち主から話を取り次いだ私と、快く引き受けてくれた学校側の周到な受入れ準備、引越しを手伝ってくれた方、この四者の見事な連携プレーは、日頃からのご近所付き合いの賜物だと思っています。こうした連携こそ、災害時には欠かせませんね。

(小山台1丁目東 川崎喬子)



元気に泳ぎ回るグッピー



両社祭

戸越八幡神社例大祭

関係者一同は大張り切りでした。両神社の氏子町会である小山4丁目、小山5丁目、荏原7丁目と武蔵小山パルムを加えた7基の神輿が連なって、武蔵小山駅前広場から西小山駅前広場まで、1時間余りかけて練り歩くのです。列にはお囃子や手古舞も加わり彩を添えました。沿道は見物客であふれ歓声やため息が漏れて、いよいよ祭りはクライマックスを迎えました。

戸越八幡神社の例大祭は9月13、14日の両日にわたって催されました。14日(日)は、小山台(1丁目、1丁目東)の神輿と後地連合町会(小山1丁目、小山2丁目東部、小山2丁目西部、親友会)の神輿が町内を連合渡御しました。後地の交差点は、神輿の担ぎ手やたくさん見物客で埋まり、にぎわいました。

**「ブライインドサッカー」って、知っていますか?**  
「ブライインドサッカー フェスタ」というちよつと耳慣れないイベントが9月15日(月・祝)に「しながわ中央公園」で開催されました。どんな催しかというと、ひと言でいえばサッカーに似ています。ところが、目にはアイマスクが装着されているから、周りには見えない状態です。チームは5人で編成され、ゴールキーパーだけが目が見える。音の鳴るボール、ゴール裏に立つガイドの声を頼りにプレーするので、会場では、実際に試合を観戦しながら、目が見えないなんて信じられないスピード感あふれる驚きのプレーが続出しました。来場者はアイマスクを付けて体験しましたが、手探り状態で思うように足が運べません。

◎各ご家庭に配布しております。1部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、11月20日(木)発行の予定です。